

中部運輸局交通政策部

令和8年1月22日 定例記者懇談会発表

連絡先

中部運輸局 交通政策部交通企画課

江川、小坂井 TEL: 052-952-8006

地域公共交通の現状を評価し、専門家が今後の方向性を助言します

「地域公共交通確保維持改善事業及び地域公共交通計画第三者評価委員会」開催
オンライン配信による傍聴者募集中

中部運輸局では、下記のとおり「地域公共交通確保維持改善事業及び地域公共交通計画第三者評価委員会」をオンライン形式（Zoom）により開催します。

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱等に定められているバスの運行費補助等の事業評価に加え、中部運輸局では、地域公共交通計画の評価も対象として開催しています。

管内5県32自治体等（※評価対象協議会等は別紙のとおり）における、地域全体の交通ネットワークに関する取組等について、評価委員が専門的見地から評価を行うとともに、今後の取組の改善に向けて助言いたします。

記

1. 日 時：

令和8年2月10日（火）9時15分～16時00分（対象：愛知県内協議会）

2月12日（木）9時15分～16時50分（対象：三重県内・岐阜県内協議会）

2月13日（金）9時30分～17時15分（対象：福井県内・静岡県内協議会）

2. 評価委員（委員名は五十音順で記載）：

加藤 博和 氏（名古屋大学大学院教授）、倉内 文孝 氏（岐阜大学教授）、
杉木 直 氏（豊橋技術科学大学教授）、松本 幸正 氏（名城大学教授）、
三寺 潤 氏（福井工業大学教授）

3. 会 場：名古屋合同庁舎第1号館 11階 運輸大会議室

4. 傍聴方法：傍聴にはZoomにアクセスできるインターネット環境が必要です。傍聴希望の方は、以下URLからお申し込みください（傍聴日当日も可）。

中部運輸局ホームページ <http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/hyoka/index2026.html>

【報道機関の皆様へ】会場に報道機関席を設けますので、取材のお申し込みは、開催
日前日までに上記連絡先へご連絡をお願いいたします。

評価対象協議会等の一覧

	開催枠	協議会名
2月10日 (火)	愛知 9:15～11:55	愛知県公共交通協議会
		知立市総合公共交通会議
		東浦町地域公共交通会議
		武豊町地域公共交通会議
		常滑市地域公共交通協議会
		一宮市地域公共交通会議
	愛知 13:10～16:00	瀬戸市地域公共交通会議
		日進市地域公共交通会議
		東郷町地域公共交通会議
		豊明市地域公共交通活性化協議会
2月12日 (木)	三重 9:15～11:55	三重県地域公共交通協議会
		伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
		亀山市地域公共交通会議
		明和町地域公共交通協議会
		志摩市地域公共交通会議
	岐阜 13:30～16:50	岐阜県地域公共交通協議会
		関市公共交通活性化協議会
		可児市地域公共交通協議会
		養老線地域公共交通再生協議会
		岐南町地域公共交通活性化協議会
2月13日 (金)	福井 9:30～11:40	郡上市地域公共交通会議
		福井県地域公共交通活性化協議会
		鯖江市地域公共交通活性化協議会
		勝山市生活交通地域協議会
	静岡 13:15～17:15	小浜市地域公共交通会議
		静岡県地域公共交通活性化協議会
		浜松市地域公共交通会議
		湖西市地域公共交通会議
		伊豆市地域公共交通会議
		伊豆の国市地域公共交通会議
		富士市公共交通協議会
		富士宮市地域公共交通活性化再生会議

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱等に定められるバスの運行費補助等の事業評価に加え、中部運輸局独自に地域全体の公共交通に関する取組に対して評価、助言等を実施。

① ネットワークの評価

バスの運行費補助等の国庫補助事業のみならず、地域公共交通計画の評価結果を評価の対象とし、地域全体の交通ネットワークについて評価を行い、地域全体の取組が真に地域公共交通の改善に資するかを議論。

② 広域的、モード横断的な視点での議論を実施

広域的バス路線と鉄道・コミバスとの役割分担や、危機的となっている広域的バス路線（幹線系統補助路線）への具体的な対応方針などについて議論。

③ 多様な委員の参画

- 以下 5 名の学識委員が参画（2～3 名が交代で担当）。各分野・立場から意見・助言を行う。
- ・ 松本 幸正氏（名城大学教授）・ 倉内 文孝氏（岐阜大学教授）
 - ・ 加藤 博和氏（名古屋大学大学院教授）
 - ・ 杉木 直氏（豊橋技術科学大学教授）・ 三寺 潤氏（福井工業大学教授）

④ 評価プロセスの公開

評価委員会の公開や、運輸局ホームページ上の資料公開により、地域公共交通の現状を可視化。



第三者評価委員会の様子

中部様式

令和 6 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

沼津市地域公共交通協議会
(沼津市)

平成 31 年 4 月 1 日設置
令和 2 年 3 月 沼津市地域公共交通計画策定
(計画期間: 令和 2 年 4 月～令和 8 年 3 月)

運輸局ホームページ上で
公開される資料

No	施策内容	実施状況	実施内容	考察・今後の取組み
1-①	沿道地域の関係機関との連携の推進	△	自動運転の走行空間実証実験	自動運転の推進による影響を分析することで、将来的なトランジットモデル化を検討する資料とする
1-②	公共交通機関における運行状況の把握	○	● 地域内フィーダー系統運行補助 (3 路線→8 路線へ拡大)	バス事業者と協議の上、引き続きバス路線の維持を図る
1-③	公共交通機関における運行時間の拡大	△	● 教員乗降サービスの実証運行	夜間の人々の動きを検討し、夜間の移動手段を検討する資料とする
1-④	乗降者確保に向けた対策	○	● 市主催の移住相談会ではバス事業者による送迎サービスの実証実験を実施	送迎を無料としたアニメのラッピングバスを運行しているという取り組みがあることがわかった。幅広い世代への呼びかけが考えられる
2-①	デジタルサイネージの設置	○	● 沿道沿線にデジタルサイネージを設置	送迎駅、送迎港につづく 3 箇所目。わがやうな移動環境の整備に努める
2-②	利用しやすい環境の整備	○	● 一部駅で同じ経路を運行する 2 社の共通定期券の発行	引き続き各社との調整に努める
2-③	路線網・時刻表の作成	○	● 毎年、路線計画・変更を反映した最新の時刻表の作成	最新情報を掲載するよう年度更新に努める
2-④	バスイベント、企業・地区セミナーなどの開催	○	● MMV バスプロジェクト作成	体験型の出前講座に工夫。紙芝居を取り入れ、わかりやすい内容に努めた。今年で小学生向けに力を入れているが、今後大人向け、高齢者向けの企画の実施に努める
2-⑤	新技術の検証 (例: 自動運転による自動運転実験など)	△	● 市の主体となった送迎駅・送迎港の自動運転に関する実証実験を実施	将来的なレベル 4 の自動運転実験に向け、引き続き実証を行う
2-⑥	路線バス利用者の確保	○	● 交通αアプリを活用したシームレスな移動の提供	アプリリリース後、どのように展開していくか検討する必要がある